



311 東日本大震災支援 チャリティーコンサート

2016年3月11日(金) 13:30 開場 14:00 開演

会 場 蕨市立文化ホールくるる JR 蕨駅西口徒歩3分

入場料 2,500 円(全席自由)

収益は全額義援金として岩手・宮城・福島各県のこども基金に寄附いたします



「震災から5年を迎えるこの日、蕨出身のピアニスト岡田知子氏が奏でる名曲の数々と碓(はざま)美穂子氏の甘いバイオリンの響きをお届けいたします。」

【岡田 知子】ピアノ

埼玉県蕨市出身。

東京芸術大学、デトモルト音楽大学卒業。ピアノを故 永井進、小林道夫、シルデ、シュヌア、室内楽伴奏法をヴァイセンボルン、チェンバロをデューリンクの各氏に師事。

1977年1月、旧西ベルリンのメンデルスゾーン・コンクール、ピアノ・トリオ部門で第1位を受賞。同年10月、ジュネーブ国際音楽コンクール、ピアノ・トリオ部門で1位なしの第2位、同時にスイス特別賞受賞。以後、ドイツ、スイスにおいて多くのコンサートを持つ。エリザベート・シュヴァルツコップ、ヴィクトリア・デ・ロス・アンヘレス、エルンスト・ヘフリガー各氏の公開講座の通訳および伴奏を務める。1980年より草津夏期国際音楽アカデミー&フェスティバルに参加。ヘフリガー氏、フルートのオーレル・ニコレ氏のアシスタントを務める。1991年より、チューリッヒ夏期マスター・コースでもヘフリガー、エーバーハルト・フィンケ両氏のピアノ伴奏を務める。

【碓 美穂子】バイオリン

東京都生まれ。5歳よりヴァイオリンを始める。

東京芸術大学音楽学部器楽科卒業および同大学院修士課程修了。故 福井 巖、故 岩崎吉三、ロバート・ダヴィドヴィッチの各氏に師事。

1991年モーツァルト・コンテスト、1992年フランス音楽コンクールで受賞。

2000年、モーツァルトのソナタを収録した武久源造氏と共演のCD「鍵盤音楽の領域 Vol.1・6」をリリース。レコード芸術誌にて特選盤となる。2001年、ジャズベーシスト中山英二氏とジャンルを超えたデュオ活動を開始。2002年、中山英二氏のプロデュースによる初リーダーアルバム「ハートストリングス」をリリース。2003年、ジャズピアニスト サー・ローランド・ハナ最後のアルバム「ラストコンサート」にゲストとして参加。2003年、ギタリスト竹内永和氏とデュオ活動を開始し、デュオアルバム「葡萄の丘から〜ファンタジア・エスパニョーラ」(2004年)、「エキゾチック」(2008年)、「デジャヴ」(2010年)をリリース。2005年9月、フィレンツェ室内管弦楽団と共演。「しあわせはこぶコンサート Vol.1」(2011年)、しあわせはこぶコンサート Vol.2」(2013年)を銀座王子ホールにて開催。

現在、各地のコンサート活動のほか、地元での活動としてフェルナンブーココンサートを開催。2009年に20周年を迎えた。2007年よりピアニスト岡田知子氏との共演シリーズを開始し、現在に至る。

【森田 明子】311 支援チャリティーコンサートプロデュース

蕨市在住。

平成7年阪神淡路大震災時の3週間後、現地に入り惨状を目の当たりにする。ボランティア活動を通して現地の方々に会い、避難所の壁を見つめて時を過ごす被災者の声にならない声を聞く。

災害時にあって、復旧作業と共に言葉掛けと生演奏の持つ癒しの空間の必要性・大切さを学ぶ。

311 東日本大震災では、発生から40日後に第1回チャリティーコンサートを企画・開催する。2012年8月、歌声ボランティアとして釜石市甲子町仮設住宅Bを訪問。

また、チャリティーコンサートの経済的支援の母体となるチャリティー「My PRIVATE TIME〜季節に唄う〜」を月1回蕨市立文化ホールくるるにて開催。

現在、埼玉県内において、合唱指導及び童謡唱歌抒情歌の継承活動に専心。埼玉県合唱連盟理事。

主催 311 支援チャリティーコンサート実行委員会

共催 蕨市立文化ホールくるる 蕨市中央 1-23-8 TEL048-446-8311

チケット取扱い ◆蕨市立文化ホールくるる ◆森田 TEL070-6645-0501